



2021.11

1 はじめに

立冬を過ぎ、季節は冬になりました。2年生の修学旅行も無事終了し、すべての学年で、いよいよ新しい段階（時期）に入って参ります。

コロナの感染状況も落ち着いてきているため、今年は昨年度とは違って、落ち着いた受験シーズンになることを願っていますが、油断は禁物です。用意周到に、危機管理にもご留意いただき、万全の体制でお子様をご指導いただきますよう、お願い申し上げます。

2 2022年度大学入試について

3年生の受験する2022年度入試（共通テスト）まで、あと50日余りとなって参りました。昨年度の様なコロナによる混乱は、今年は何とか収まってくれるのではないかと願っておりますが、今年も、次の3つの要因によって、変化が起こると予想されていますので、ご紹介します。

影響を与える要因としては、①少子化による受験生の減少②コロナ禍による地方分散型入試③入試改革による大学再編の加速化の3点が挙げられます。

①の少子化により、昨年度より更に2万人程度の受験生減少が見込まれております。その関係で、大学側の学部改革や入試制度改革の際に、定員を大幅に削減する傾向が、顕著に見られます。志望校の研究の際に、ご確認ください。（看護系は増員もあります）

②の地方分散型については、今後の感染状況に大きく左右されると思われませんが、昨年度は、直前になって2次試験が取りやめられたり、感染症を恐れて、首都圏への受験生が減少したのは記憶に新しいところです。受験生は、国公立大学の倍率が近年低下傾向にあることにも敏感に反応しており、地方国公立大学への志望者が増加することは、容易に想像できます。オンライン授業やアルバイトできない状況等も、これに影響を与えているようです。今年は、今後の状況次第で変化するとも考えられます。

③の改革は、共通テストの開始とともに、大きく変化しています。英語4技能検定も、文科省主導による全国一律の改革は延期されたものの、2021年度入試では、大学ごとにルールを定める形となり、英語検定の資格の有無が、受験に大きく影響しました。この傾向は今年も続くと思われしますので、現1・2年生にも考えておいてほしい変化だと言えます。また、新たな時代に向けた教育改革に合わせ、学部・学科再編が急ピッチで進められており、文系（理系）一括募集の入試や総合問題の導入が増加傾向にあります。

出願の際の「志望理由書」や「実績報告書」の提出も非常に多く、国公立大学の8割以上の大学で実施されました。（学部によって差があります）また、合否判定には使用しないとしながらも、有名私立大学でも「志望理由」を書かせるなど、主体性評価に関する変化がじわじわと起こってきております。3年生になってから始めるのではなく、1・2年生も今できることを考え、自分から取り組める姿勢を持つことが大切であると言えるでしょう。是非お子様とお話する時間を作って、今後の高校生活について、意見交換をしていただきたいと思います。

3 3年生保護者の皆様へ

受験準備を進められていることと思います。お子様との話し合いを十分に行っていただき、最終的な決断をしていただく時期が近づいております。学年部会でもお話ししましたが、これからの50日そして90日は、**出願と受験の日程を考えながら、毎日の過ごし方**を考えねばならなくなり、ちょっとした忘れ物が大きな失敗につながることもありますので、生徒の主体性に任せつつも、必要な声かけをお願いいたします。

大学合格後についても、**手続きでトラブルが起こることがあります**。書類をよくお読みいただき、締め切りと手続きの手順をご確認ください。

そして何よりも、精神的なケアにご配慮ください。本校生はあまり失敗体験がなく、少しの失敗でも大きなダメージを受けがちです。受験は3勝4敗で大成功なのです。すべてに合格する受験は、自分の実力を出し切れない安全出願となります。チャレンジしながら最大の力を出すためには、いくつかの失敗を恐れず、挑戦する心構えで臨んでほしいと思います。そして、お子様の

精神的なケアにもご配慮ください。よろしく申し上げます。

4 2年生保護者の皆様へ

無事に修学旅行も終わり、いよいよ**3年生ゼロ学期**が始まります。つまり、受験生としての最初のスタートの時期になります。学年部会でもお話ししましたが、受験生としてのスタートは、2年生11月が最も適切な時期とされています。ご存じの通り、進研模試でも**5教科型が始まり**、一気に学習量が増加して、困っている生徒も多いと予想されますが、実際の受験も5教科型が中心になりますので、いよいよ臨戦態勢に入ったと言えるでしょう。

まもなく、来年度のコース選択が始まります。国公立型か私立型かを選択していただき、次年度に向けたクラス編成も始まります。

この選択は、進学先を左右する重要な選択になりますので、将来に向けた話し合いの時間を十分に取っていただくことが、何よりも大切だと思います。

お忙しい時期だとは思いますが、お子様の将来について、ご指導いただきますようお願い申し上げます。

5 1年生保護者の皆様へ

入学後8ヶ月が経ち、高校生活にも十分に慣れてきたことと思います。進学関係については、学部・学科研究が始まり、12月からは、テーマ研究の準備も始まります。少しずつ進路についても考えていく時期になって参ります。**1年生のうちに留意してほしいこと**は、次の2点です。

①まず学習面で、日頃の授業内容を十分に理解する努力をしているか、ということです。受験勉強に本格的に取り組むのは3年生だとしても、1・2年生の授業内容をゼロから復習することは非常に困難です。一つ一つの授業や試験、外部模擬テストなどにしっかり取り組み、やりっ放しにならないことがとても大切です。この努力が最後に自分を助けることになります。

②次に、受験に関する基礎知識を身につけていくことです。共通テストがどのような試験なのか、前期試験と後期試験は何がどう違うのか、国公立大学と私立大学では何が違うのか、といった基本的な事項を理解することは、1年生にとっても非常に大切です。前述した英語検定試験等についても、今から準備する必要がありますので、基本的な知識の理解は必須要件となって参ります。そしてもちろん、2年生からの文理選択のためにも、受験の知識が必要になることは言うまでもありません。

お子様と一緒に、将来について考える時間を少しずつ増やしていただきたいと思います。

6 終わりに

大学改革・高校改革・入試改革は三位一体の改革と言われ、一体的に改革が行われてきております。そのような大きな改革の時期に、コロナ感染が広がり、大学情報が得にくくなっていることは、本当に残念ですし、大きな課題でもあります。

しかし情報化が進み、様々な情報が無責任に飛び交う時代となっております。不安を抱える受験生に、安易な情報が流れ、混乱することも予想されております。

少しずつ回復し、従前の生活を取り戻しつつありますが、まだまだ予断を許さない状況にありますので、信頼できる情報に基づいて、落ち着いた対応と準備をお願い申し上げます。

何度でもご紹介してきましたが、本校の進路指導は、大切な高校生活を有意義に過ごしながらも各自の希望する進路を実現していくという、難しい課題に挑戦してきました。二兎を追いながら二兎を得るといふ、ことわざに反する内容だけに、様々な困難が生徒達にも訪れていることでしょう。

しかし、困難に遭遇しながらも、「一度しかない青春のひとときを勉強だけに終わらせることなく、充実した時間を過ごしてほしい」、そして「各自がめざす進路を実現させて、希望に満ちた表情で卒業を迎えてもらいたい」、そんな願いをずっと持ち続けて指導を行っております。

生徒一人一人には個人差もあり、難しい面も多々ございますが、保護者の皆様にご理解とご協力をいただきながら、生徒達の成長を見守っていきたいと思っております。

心配な情報やフェイクニュースにお困りの際には、遠慮なくご相談ください。できる限りの対応を心がけて参ります。

本誌に対するご感想やご意見もお待ちしております。今後ともご協力を賜りますようお願い申し上げます。

石橋高校 進路指導部